

ROTARY CLUB OF

KANAZAWA-NORTH



金沢北ロータリークラブ

例会日：木曜日 12:30～13:30

例会場：卯辰山・松魚亭

事務局：金沢市尾山町9-13・金沢商工会議所

TEL <0762> 22-2525

会長：山岸与作 幹事：上田忠信

情報委員長：中村三次

1982・9月2日 第223号

ま ち の 話 題

おあしす主宰

金子 健樹氏



タウン誌「おあしす」は、13年間に亘り、毎月一号の欠番もなく、160号余を数えておりますが、すばらしい金沢と、日頃付合っている若者について、語りたと思います。

金沢のまちは、全国紙で、アンケートをとると、大抵5位以上のところにおり、時には1位にもなり、悪くても10位に間違いなく入る程一般に好感を持たれております。

しかし、金沢に生れ育った人の中には、裏日本というコンプレックスの中で、金沢にこだわりすぎる面も見られますが、兼六園を中心として、私達をとりまいて町は、古い伝統と美しい豊かな自然のある、全国のどこへ出しても、世界のどこへ出しても恥しくないまちに違いありません。世界的に美しいまちが、都会化、砂漠化して行く中で、金沢に生まれたタウン誌に、「おあしす」と名付けたのは、このような意味もあります。

もっとも、欲をいえばもう少し活気ある経済力や、新しい街づくりを生む活力も望ましい訳ですが、虫食いを防ぎ、風格のあるまちと調和のとれた新しいまちづくりが望まれます。

つぎに若者といえば、「今どきの若い者」という言葉が出るのですが、皆様方も若い時は年配の人から絶えず同じことを聞かされていた筈です。

さて、近頃の若者はといえば、歩いている時も、食事している時も、耳もとで音楽ががんがん鳴っていないと落ち着かず、静かだとかえって落ち着きを失う、或いは田圃着であったモンペか、ブルマみたいなものを、ファッション的に着こなした片町の真中を平気で歩いている、東北にでも旅行する気軽さで、外国旅行に出かる等戦中派にはとても真似が出来ません。しかし、反面、骨とうの美しさ等、古い伝統的なものに意外と関心が深く、そのような事を扱った本が、若者に案外人気がある外、敗戦を知らない若者は、外国コンプレックスがなく、国際性に富んでいる等、あまり心配がいらなと思います。

金沢の街も、金沢の若者も、だんだん大都会並になり、個性が失われて行く傾向の中で、タウン誌の存在意義も問題となりますが、本当の金沢、本物の伝統を、頑固にうけつぐ大人がいても良いのではないかと思います。

—金沢北RC例会講話より— (文責 中村三次)

私 の 名 刺

関 稔



此の度大村様、飯野様のお推めを頂き、又会員皆様様の御理解と御友情に依りまして、名誉ある金沢北ロータリークラブに加入させて頂きました事、心から御礼申し上げます。

最初に推薦の連絡を頂きました時は、正直云いまして大変恐縮し迷いました。私の仕事は典型的な家族経営業であり、今迄どちらかと云えば関連業界の方々、趣味のグループ、気持の通ずる友人等、自分の生活圏の中での付き合いが多く、とても人生経験の豊富であり、又社会的、事業的にご活躍なさって居られる金沢北ロータリーの方々仲間に入れさせて頂く事など思いもよりませんでしたし

そういう資格など私にはあるとは思ってもいませんでしたし、現在もその気持は変わりません。

しかし、大変未熟な私を推め頂いた両先輩の御愛情と会員の皆様様の御友情を考え、又職業活動を通じて社会に寄与するロータリー精神を理解させて頂き、私のようなものでも仕事で奉仕できる事があるのならという気持ち、さらに諸先生の方々より色々とお教えを頂ける人生勉強の期待等、などであえて入会させて頂きましたわけです。どうか今後共大変未熟者ですが、宜しく御指導下さいませようお願い申し上げます。

私は昭和10年生れです。写真スタジオは父が初代であり、現在地に開業して丁度50年になります。子供の頃より大変きびしい道とはつゆ知らず、長男と生れば家業をつぐのは当たり前という気持ちで父のアシスタントとしてカバン持ちをやったり、下仕事の手伝いをすんなりとやっていました。高校卒業後、当時の写真専門学校へ行く積りでしたが、受験1ヵ月前に父から修業の道は一生長くかかるものだから、美大へ行って美学の勉強をして来いと云われ、おっかなびっくりやった事もないデッサンを1ヵ月自己流で勉強し、受験当日係の先生に君のデッサンは黒ん坊みたいだと云われ冷汗をかいた思い出もあります。彫塑科に入り、毎日粘土こねをやり、裸婦像を造る崇高な芸術生活で楽しくもありましたが、何か集中力が生れずおろそかになり、結果的には不真自面な学生生活を送る事になりました。

今は亡き矩、長谷川両先生には大変迷惑をお掛けしたものです。しかし不思議なものでその学生生活で一生付合える大切な友人が出来たり、又現在の仕事も勿論スタジオ写真が中心ですが、商業写真も主な内容で、デパートの宣伝広告写真、一般のコマーシャルフォートも多く、先輩、後輩のデザイナー、スポンサーの方々の付き合いも多く、又、若い女性に囲まれて楽しい仕事をさせて頂く幸せな面もありまして、どうにか日々を暮らせて頂いて居ます。只今迄若さ故に仕事仕事と一途にやってきましたが、それだけでは割切れないものがあります。何かをおろそかにして来た気が致します。それはおそらく人間としての様々な勉強であり、写真というもののもっと奥深い美の探究であろうかと思えます。

この様に大変悩み多い未熟な私ですが、今度金沢北ロータリークラブへ入会させて頂きました上は、諸先生方の経験豊富な人生観、エネルギッシュな御活動に触れ、ロータリー活動を通じて様々な勉強をさせて頂きたく、心からお願い申し上げますと共に、御礼申し上げます。



ジョン・ワレンタ君

ロータリー財団奨学生
金沢大学法学部一年間留学
(金沢北ロータリークラブホスト)

住所 金沢市幸町5の3
TEL 23-3379

page 2

して受け入れて下さいました。昔のことわざにもあるとうり、父母の思は海よりも深く、山よりも高い。この言葉を思い出した。なつかしく金沢のこと思い出します。お陰で安心して日本で留学することが出来ました。そのご恩は一生忘れません。

本年は国際ロータリー財団の奨学生として金沢北ロータリークラブのお世話になります。この身に余る光栄に対して心から感謝いたします。

page 3

あいさつのごときは、金沢北ロータリークラブの皆様方へ再び美しい金沢を訪れ、皆様方とお会いするの心からお喜びいたします。以前、来沢させていたたいした時、金沢北ロータリークラブのお陰でいろいろ貴重な体験をいたしました。また大村さんを初め、かさまさん、飯野さん、そして山上、特にそれぞれの方々にはお世話になりました。私を家族の一員として

page 4

実は八月十七日に金沢に到着いたしました。金沢北ロータリークラブの役員の皆様がお忙しいところ、わざわざお出でいただきまして誠にすみませんでした。特に飯野様に感謝の意を表明したいと存じます。

本年の初めから、私のcounselorとしてアパート探しもなされて下さいました。また様々な問題を解決なされて下さいました。どうもありがとうございます。

page 5

本年も以前と変わらず二つの理想的な大志を抱いてあります。

まず、第一に、国際親善、特に日米親善と国際理解の精神を広めたいと存じてあります。

そして、第二には、日本の大変珍しい文化や歴史についてもっと学び理解したいので、これに關して金沢大学で勉強する機会も多いに期待しております。

page 6

金沢はユニークな町だと思います。さいこになりましたが、これからはアメリカの大学で習った千里の道も一歩から始まるという言葉を覚えながら、本年の留学の目的を達成することに力を入れますから、またどうぞよろしくお願いを申し上げます。

page 5

金沢に着いてから、飯野様のご家族と共に駅を出て先生のお宅へまいりました。途中でよく車のまどからあちらとこちらを見ながら金沢のかわった所、つまり、私が以前にいた時とちがう場所にだんだん気がつきました。皆様もご存じのとうり、この間新しい建物がいくらも造り上げたのです。一方においては金沢の近代化がこのように進んでいます。しかし他方においては金沢の皆様は伝統芸術なども大切にいらっしやいます。この点で

